令和８年第４回榛東村議会定例会　一般質問通告一覧表

受付順	質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
1	生方勇二議員	1　学校の安全対策について	(1) 火災の対応について (2) 避難訓練の実施について (3) 今後の取り組みについて	担当所属長
		2　高齢者対策について	(1) 介護報酬の改定について (2) 認知症高齢者の支援について (3) 高齢者能力活用センターについて	担当所属長
		3　入札と工事について	(1) 入札執行体制について (2) 入札方式の割合について (3) 予定価格の公表について (4) 最低制限価格について (5) 電子入札の導入について (6) 村内の工事概要について	担当所属長
2	波多野佐和子議員	1　環境基本条例について	(1) 自然環境、森林の保全、ごみの減量、不法投棄、生活環境の保全などの現状の把握は。 (2) 課題に対して今後の対策をどう考えているか。 (3) 総合的に推進するために条例の制定の考えはあるか。 (4) ごみの減量化の推進の新たな考えはあるか。 (5) ストックハウスのさらなる充実の考えは。 (6) ポイント制の考えは。	担当所属長
		2　公務員の兼業・副業について	(1) 本村における職員の兼業・副業の現状は。 (2) 地域貢献につながる兼業・副業の活用は（農業の担い手不足や教職員	担当所属長

			の地域クラブ活動)。 (3) 兼業・副業制度のさらなる推進は。	
		3　食育について	(1) 子どもから大人までの食育推進は。 (2) 地域農業への理解を深める取り組みは。 (3) 家庭・地域・学校を結ぶ食育と学校給食の充実は。 (4) 公式LINEの活用は。 (5) 国の支援に加え、地元食材や栄養価の高い給食の提供などさらなる充実を図る考えは。	担当所属長
		4　クビアカツヤカミキリの被害対策について	(1) 村内の被害状況の把握は。 (2) 被害拡大防止に向けた対策は（情報等)。 (3) 被害木の伐採・処分における村独自の支援策は。 (4) 農業者への支援は。	担当所属長
3	宮崎法文議員	1　村内における外国人の人口は	(1) 近々３年間の人口推移は (2) 住民として受入れの法的条件は (3) 住民としての村の手続きは (4) 手続が完了した外国人の人権は (5) 社会保障の権利事項は (6) 外国人に制限される権利は（村が所管する範疇で) (7) 自治会との係わりは	担当所属長
		2　令和８年10月２日防衛省提出の経緯は	(1) 要望書の提出を時系列で説明されたし (2) 要望書の内容は	村長
		3　村としての訴訟事案は	(1) 村として、現在係争中の訴訟事案は有りますか	村長 担当所属長

		4　旧公民館の解体の時期と予算計上は。旧給食センターの今後は	(1) 旧公民館の今後のスケジュールは (2) 旧給食センターの今後のスケジュールは	担当所属長
4	中島由美子議員	1　村民に開かれた村政運営と村長の基本姿勢について	【数値回答の対象期間】令和５年度（村長就任日以降）から令和８年度（答弁資料作成時点）まで。各年度別の件数・人数・金額と期間合計を求める。既存資料で集計できない数値は「未集計」とし、把握方法及び記録の有無を明らかにされたい。個人が特定される情報は求めない。 (1) 村民との直接対話と現場把握について（いずれも数値のみを回答） ① 村長室での村民面談の申込件数、実施件数、延べ人数、実施に至らなかった件数と面談内容の分野別件数（教育、子育て、農業、福祉、高齢者支援、防災、その他）を年度別に伺う。 ② 村長自身による学校、農業現場、福祉施設、公共施設等への訪問回数、住民との意見交換会の開催回数及び延べ参加人数を年度別に伺う。 ※ 本項は原則として数値のみの答弁を求める。記録がない項目は「未集計」と回答され、なぜ記録がないかの理由を。 (2) 二元代表制における議会との関係について ① 議会又は議員から執行部に提出された資料提供依頼の件数、提供した件数、提供できなかった件数とその理由並びに議会で示された政策提案・要望のうち、執行部で検討した件数、事業内容又は実施方法を変更した件数及び代表的な事例を伺う。それぞれ件数の集計基準も示され数値のみの回答を。	村長

② 重要施策について、議会に事前説明を行った回数及び意見を受けて計画を見直した件数を伺う。

③ 令和５年７月11日付定期監査結果報告における議会資料のペーパーレス化の元となる定数１２名の議員のうち６台分しか設置していないとの指摘を、具体的にどのように改善したのか、また村長としてどのように受け止めているか伺う。

(3) 議会定例会の招集予定日の事前周知について

村長就任以来の定例会ごとに、招集予定日を村広報誌に事前掲載したか否か、開かれた村政として村民に招集予定日を４年間周知しようと思わなかったのか、議会の会期・議事日程の決定とは区別し、村長の招集権限に係る招集予定日を広報誌等で事前周知する仕組みを、なぜ整備しなかったのか。今後の方針を伺う。

(4) 教育・子育て・若者・農業・勤労者・高齢者支援の優先順位について

各分野について、村長が直接参加した住民・当事者との意見交換の回数と参加延べ人数、受けた要望のうち施策検討につなげた件数を、把握できる範囲で年度別に伺い、それらの施策の優先順位を伺う。

(5) 公共事業の意思決定が村民の暮らしにプラスになっているのか

① 温泉の入館料の値上げにより、利用料金の収入（優待券利用を含む）の増減額、利用人数（同）の増減人数、結果としてこの値上げ政策は村民のためになったのか、それとも村の財源確保につながったのか、村長の考える成果が得られたのか。

		② 水道の有収率について、令和５年度から令和８年度までの年度別実績（令和８年度は把握できる最新値）を数値のみ伺い、村長就任以来、現在までに有収率の改善に向けた議論の回数を年度別に伺う（回答は数値のみ）。 (6) 村民の移動手段の確保に関する比較検討について 現在福祉タクシーの施工が続けられているが、この間、公共バス、予約型のデマンド交通（デマンドバス等）の各方式について、比較検討を行ったか否か。	
	2 特別支援学級における学習環境の整備について	(1) 北小学校及び南小学校の特別支援学級における教科学習の時間、教材及び学習達成度などの学習状況を把握し、個々への指導計画へ反映されているかについて。 (2) 南小学校において、児童が落ち着いて継続的に学習できる環境は確保されているのか、整備状況について。 (3) 南・北小学校において、保護者からの相談・要望に対する改善の判断及びその対応について。	教育長
	3 児童の主体性と自立を育む教育指導及び教育委員会の指導体制について	(1) 通常学級及び特別支援学級において、児童の主体性と自立を促すため、教職員及び支援員に示している指導方針について。 (2) 特別支援学級と通常の学級との交流及び共同学習の実施状況と、その成果の把握について。 (3) 通常の学級及び特別支援学級に対する教育委員会の学校訪問、授業観察及び指導・助言の実施状況に令和５年から現在までの年度別の回数について、	教育長

			項目と回数のみ回答。 (4) 保護者等から教育指導や学習環境の改善を求める意見が寄せられた場合の対応及び改善状況の確認について。	
5	一倉靖子議員	1　0570番号（ナビダイヤル）について	(1) 0570番号の導入状況について (2) 職員の負担について (3) 今後について	担当所属長
		2　個人情報保護について	(1) 個人情報の管理体制について (2) 情報漏えい及び不正利用の防止について	担当所属長
		3　特殊詐欺対策について	(1) 被害状況について (2) 防犯対策について (3) 今後について	担当所属長
		4　街路灯（防犯灯）について	(1) 街路灯（防犯灯）の設置状況について (2) 設置要望への対応について (3) 暗い道路や通学路への対応について	担当所属長
6	三俣実議員	1　自治会未加入世帯が利用できるごみステーション設置について	(1) 令和８年度の進捗状況について (2) 今後の進め方について (3) 使用開始時期について	担当所属長
		2　しんとう温泉ふれあい館の魅力向上と利用促進について	(1) 令和７年度までの過去10年間の入館者数の推移とその分析について (2) 令和７年度までの過去10年間の指定管理委託料の推移について (3) 令和７年度までの過去10年間の施設利用料に伴う収入の推移について（売店収入・売店手数料・自動販売機販売手数料・カラオケ手数料） (4) 令和６年度と令和７年度の温泉利用料金改定前後における入館者数・入館料収入・指定管理委託料及び施設利用収入の比較について	担当所属長

			(5) 温泉利用料金の改定による利用者数及び施設収入への影響と村の評価について (6) 利用料金改定後における指定管理委託料の増額要因について (7) 売店の商品構成や飲食メニューの見直しと充実について (8) 地元農産物や特産品の直売機能の充実について (9) 高齢者優待制度や各種会員向け優待サービスの導入について (10)県道南新井線バイパスの開通を契機とした施設のＰＲ強化について (11)地域団体や事業者との連携を含めた施設全体の将来構想について	村長
7	須田仁美議員	1　公共施設の利用促進と地域への波及について	(1) 創造の森キャンプ場について、村民優先申込期間や村民優先予約枠を設けるなど、村民が利用しやすい仕組みを導入できないか。 (2) 以前にも質問したが、創造の森キャンプ場やふるさと公園などの利用者が、村内の店舗や他の施設にも足を運ぶよう、施設間の相互優待やスタンプラリーなど、村内を周遊する仕組みの構築について、どのように考えているか。 (3) 創造の森キャンプ場やふるさと公園などへの村外からの集客を図るため、JAF会員優待や民間のお出かけ・観光サイトなど、外部サービスの活用を検討する考えは。	担当所属長
		2高齢者等の移動支援と公共交通の利便性向上について	(1) 通学定期券の購入費用に対する半額助成について、GunMaaSとの連携による購入時の助成適用など、利用者の申請手続きと職員の事務負担を軽減する仕組みを導入できないか。	担当所属長

		(2) 既存の路線バスをさらに活用し、高齢者の外出機会の確保や健康増進につなげるため、現在のタクシーチケットによる助成に加え、通学定期券への助成のように、路線バスの利用にも助成を広げられないか。 (3) GunMaaSなどの既存サービスを活用し、スマートフォンを利用する方の利便性向上と、利用が難しい方への配慮を両立させながら、村内の公共交通と連携した利用しやすい仕組みを整備するための調査研究を行っているか。 (4) しんタクの第3弾の取り組みが進む中、他自治体におけるデマンド交通などの新たな事例や導入効果を継続的に調査し、その結果を地域公共交通に関する検討委員会での議論に反映しているか。	
	3　交通安全対策について	(1) スクールゾーンなどの路面表示の整備後、車両の走行状況や地域住民の意見などを踏まえ、効果をどのように検証し、追加整備につなげていくか。 (2) 村内全域の道路について、交通安全上必要な路面表示の設置状況をどのように点検し、危険箇所の整備を進めていくか。 (3) 新たな県道の整備に伴う交通環境の変化も踏まえ、村内全域で自転車の安全な通行環境を確保するため、自転車の通行位置を示す路面表示などの整備について、関係機関に働きかける考えはあるか。 (4) 通学路の危険箇所を幅広く把握するため、保護者だけでなく、地域住民などからも情報を集め、通学路の安全点検に反映する考えはあるか。	担当所属長

		4　庁舎ライトアップによる啓発活動について	(1) 庁舎で実施する啓発ライトアップについて、対象となる啓発活動や色の選定に基準を設けているか。 (2) 毎年実施しているブルーライトアップに加え、9月のがん征圧月間における紫色のライトアップなど、他の啓発活動にも対象を広げることを検討する考えはあるか。	担当所属長
8	清水健一議員	1　経済的な事情に関わらず子どもたちが多様な学びや体験を得られる仕組み作りについて	(1) 現状について (2) 今後について	担当所属長
		2　意義ある学校給食の無償化を実現するために	(1) 現状について (2) 今後について	担当所属長
		3　命を守る暑さ対策の推進	(1) 現状について (2) 今後について	担当所属長
9	栁岡利精議員	1　財政負担を伴わないデジタルツールの活用（交通・観光案内等）について	(1) 村道ならびに県道工事等に伴う道路交通情報の迅速なデジタル発信について 村道や県道工事や通行規制等の情報について、村として県等の関係機関とどのように連携・情報把握を行っているか伺う。また、公式SNSやWeb等のデジタルツールを活用し、住民や来訪者への迅速・適時に情報発信を行うための現状と今後の対応方針について伺う。 (2) 無料ツールを活用した観光・施設案内の推進と適切な運用について 財政負担を抑えつつ地域活性化を図るため、既存の無料デジタルツール（地図サービスやオープンデータ等）を活用した観光・公共施設案内の推進状況	担当所属長

			について伺う。あわせて、正確な情報の維持更新や運用上の課題、今後の取組方針について伺う。	
		2　ふるさと納税における寄附金の管理について	(1) ふるさと納税の推進・広報活動について 　ふるさと納税およびふるさと納税型クラウドファンディングをどの様に推進および広報活動しているのかを伺う。 (2) 個人のふるさと納税における使途の管理について 　寄附者が指定した使途ごとの寄附額、充当事業、充当額及び未充当額を、どのような根拠及び仕組みにより管理しているのかを伺う。 (3) 年度を越えた寄附金の管理について 　年度内に使途指定された寄附金を全額充当しなかった場合、未充当額を翌年度以降どのように把握・管理しているか。また、その残額を確認できる管理資料はあるかを伺う。 (4) ふるさと納税型クラウドファンディングの寄附金管理について 　プロジェクトごとの寄附額、充当額及び残額をどのように管理するか。また、目標額の未達・超過及び年度内に未充当額が生じた場合の取扱いはどのようにするのかを伺う。 (5) 寄附金の活用状況の公表について 　ふるさと納税及びふるさと納税型クラウドファンディングについて、寄附額、具体的な充当事業、充当額及び残額を公表する考えはあるかを伺う。 (6) 寄附者の意思および年度を跨ぐ活用を担保する制度について 　寄附者が指定した使途を年度を越えて継続して管理し、寄附金の活用状況	担当所属長

			を明確にする現在の仕組みを十分と考えているか伺う。	
		3　小中学校における学力について	(1) 全国学力・学習状況調査結果を踏まえた学力向上策について 令和７年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、本村小中学校における学力向上のための具体的な課題分析と、教育委員会としての今後の具体的な指導方針について伺う。 (2) 学校教育における生成ＡＩ利活用方針の整備と情報モラル教育について 学校教育における生成ＡＩの適切な利活用に関し、文部科学省のガイドラインVer.2.0（令和６年12月26日公表）を踏まえた村内小中学校の「生成ＡＩ利活用方針」の整備状況と、教職員および児童生徒向けの情報モラル教育の取り組み状況について伺う。 (3) Google Workspace for Educationの導入効果と今後の課題について 教育の情報化の推進におけるGoogle Workspace for Educationの導入について、教職員の校務効率化および児童生徒の学習活動における具体的な効果と、今後の課題について伺う。	担当所属長